

質量分析で拓く宇宙・地球科学の最前線

～地球惑星科学における装置開発の重要性～

【日時】 2013年12月20日(金) 13:00～20:00頃

【場所】 大阪大学理学研究科H棟701号室 (大セミナー室)

<<http://www.sci.osaka-u.ac.jp/location/maps-jp-b.html>>

- | | | |
|-------------|-----------------|--|
| 13:00-13:15 | 豊田 岐聡 (阪大) | 阪大で開発されてきた質量分析装置 |
| 13:15-14:00 | 寺田健太郎 (阪大) | 局所絶対年代分析で拓く太陽系の歴史 |
| 14:00-14:45 | 丸岡 照幸 (筑波大) | 生物活動を読み解くための同位体分析 |
| 14:45-15:30 | 角野 浩史 (東大) | 噴火に伴う火山ガスの同位体組成変動 |
| <休憩> | | |
| 16:00-16:45 | 佐々木 晶 (阪大) | 探査機 on-site 質量分析が拓いた太陽系科学 |
| 16:45-17:30 | 橘 省吾 (北大) | はやぶさ2：近地球C型小惑星リターンサンプルに
我々は何を問いかけるか |
| 17:30-18:15 | 矢野 創 (JAXA) | 将来の深宇宙探査構想における、その場質量計測・
帰路試料分析の重要性 |
| 18:15～ | Closing & 立食懇親会 | |

【世話人】

寺田 健太郎 (理学研究科・宇宙地球科学専攻)

豊田 岐聡 (理学研究科・基礎理学プロジェクト研究センター)

【問合せ先】

寺田: terada@ess.sci.osaka-u.ac.jp

*** 学部生、教職員、どなたでもご参加下さい**